■科目名：診療の補助技術Ⅱ（検査、治療、処置）第１回

**■テーマ**

検査の基本的理解と看護師の役割

**■目的**

検査の種類や目的を理解し、検査に関連する看護師の役割を明確にする

**■目標**

1. 検査の分類（生理検査、画像検査、検体検査、内視鏡検査など）を説明できる
2. 検査の目的（診断、経過観察、予後判定）を理解できる
3. 検査前後の看護師の支援内容を具体的に述べることができる
4. インフォームド・コンセントにおける看護師の補助的役割を説明できる

**■授業構成（90分）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時間配分** | **内容** | **指導方法** |
| 10分 | 授業の目的と到達目標の共有。検査に関する事前知識の確認と導入。 | 講義 |
| 15分 | 検査の分類について説明（生理検査：心電図・脳波、画像検査：X線・CT・MRI、検体検査：血液・尿・便、内視鏡検査：胃カメラ・大腸カメラ）。それぞれの特徴と検査対象部位を整理。 | 講義・板書 |
| 15分 | 検査の目的を解説（診断、経過観察、予後判定）。各目的に応じた検査の活用例（例：糖尿病の経過観察におけるHbA1c測定など）を提示。 | 講義・スライド |
| 20分 | 検査前後の看護師の役割を具体的に整理（食事制限の説明、検査説明の補足、排泄の管理、心理的不安への支援など）。事例をもとに、必要な観察ポイントや留意点を考察。 | 講義・事例提示 |
| 15分 | インフォームド・コンセントのプロセスにおいて、看護師が果たす補助的役割（患者の理解度確認、再説明の橋渡し、通訳・翻訳支援など）について説明。 | 講義・ディスカッション |
| 10分 | 検査に不安を抱える患者に対する看護師の対応について、グループで意見交換。代表者が発表し、共感的対応や説明の工夫について全体で共有。 | グループワーク |
| 5分 | 本日のまとめ。学習した内容の振り返りと次回内容の紹介。 | 講義 |

**第1回：検査の基本理解と看護師の役割**

**1．検査の分類**

医療現場では、**診断・治療方針の決定・経過観察・予後の判定**など、様々な目的で検査が行われる。看護師は、検査の種類と特徴を理解しておく必要がある。

**（1）生理検査**

➡ **体の機能や生理的反応を、器具などを使って直接測定する検査**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **内容** | **主な検査例** |
| 測定対象 | 電気的活動・呼吸・循環・神経機能など | - 心電図（ECG）：心臓の電気的活動を測定 - 脳波（EEG）：脳の電気的活動を測定 - 呼吸機能検査：肺活量・換気量の測定 - 血圧脈波検査：動脈硬化の評価 - 眼底検査：眼の血管・視神経の状態を観察 |

**（2）画像検査**

➡ **体の内部を視覚的に描出し、構造の異常や病変を確認する検査**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **内容** | **主な検査例** |
| 可視化対象 | 骨・臓器・血管・腫瘍などの構造 | - X線撮影：骨折、肺炎などの診断 - CT（コンピュータ断層撮影）：断層画像で立体的に確認 - MRI（磁気共鳴画像法）：脳・脊髄・関節などの精密画像 - 超音波検査（エコー）：腹部臓器・心臓・胎児の観察 |

**（3）検体検査**

➡ **血液や尿などの体液・排泄物を分析し、体内状態や疾患の有無を評価する検査**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **内容** | **主な検査例** |
| 分析対象 | 血液成分・尿成分・細胞・病原体など | - 血液検査：貧血（赤血球数・Hb）、感染（白血球数・CRP）、肝機能（AST・ALT）、腎機能（BUN・Cr）など - 尿検査：糖尿・蛋白・潜血などの確認 - 便検査：便潜血、寄生虫、細菌感染の確認 - 喀痰検査：呼吸器感染・がん細胞の検出 |

**（4）内視鏡検査**

➡ **カメラ付きのスコープを体内に挿入し、粘膜や臓器内部を直接観察する検査**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **内容** | **主な検査例** |
| 観察部位 | 消化管・呼吸器・泌尿器などの内腔 | - 胃内視鏡（胃カメラ）：胃炎・潰瘍・胃がんなどの診断 - 大腸内視鏡：ポリープ・大腸がんなどの確認と切除 - 気管支鏡：気道内の観察・採取・止血など - 膀胱鏡：血尿の原因、腫瘍の確認など |

**2．検査の目的**

医療において検査は、単に病気を見つけるだけでなく、治療の有効性を確認したり、今後の見通しを立てたりするためにも重要である。検査の目的は大きく3つに分類される。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **検査の目的** | **内容** | **具体的な検査例** |
| **（1）診断** | 症状の原因を明らかにし、病気を特定するための検査。 初診時や急変時に行われることが多い。 | ・胸痛のある患者に対して心電図（ECG）や胸部X線検査を実施し、 心筋梗塞や肺炎などを鑑別 ・血液検査で感染症や貧血の有無を確認 |
| **（2）経過観察** | 治療が効果を上げているか、病気が進行していないかを把握するための検査。 外来・入院ともに頻繁に行われる。 | ・糖尿病患者のHbA1cや血糖値の定期測定 ・高血圧患者の血圧記録、腎機能検査（BUN・Cr） ・抗がん剤治療中の腫瘍マーカー検査 |
| **（3）予後判定** | 治療後の回復の程度や再発の可能性を評価し、今後の治療方針を立てるための検査。 | ・がん治療後の再発チェックのためのCT・MRI検査 ・心不全患者のBNP（心不全マーカー）測定 ・脳卒中後のMRIでの脳の変化評価 |

**3．検査前後における看護師の支援**

検査が安全かつ円滑に実施されるためには、看護師の支援が重要である。検査の**前・中・後**において、それぞれ異なる役割が求められる。

**（1）検査前の支援**

患者が検査を受ける準備を整える段階。**身体的・精神的な準備の支援**が求められる。

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| 前処置の確認・指導 | - 絶食や水分制限の有無の確認と説明 - 排便・浣腸・下剤などの指示確認と実施 - 検査着や更衣の準備 |
| 検査内容の再確認と説明補助 | - 患者が内容を理解しているか確認 - 医師の説明の補足・言い換えによる理解の促進 - 不安の傾聴と共感的対応 |
| 既往歴・内服薬の確認 | - 特にアレルギー歴（造影剤や薬剤） - 抗凝固薬・糖尿病薬など検査に影響する薬の確認 - 基礎疾患（腎機能障害、心疾患など）の把握 |

**（2）検査中の支援（※看護師の立ち会いが必要な場合）**

検査中の患者の**安全確保と苦痛軽減**が主な役割である。

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| 体位保持・声かけ | - 検査時の体位が保持できるよう介助 - 不安や緊張を軽減するための声かけ |
| 意識・バイタルサインの観察 | - 特に鎮静・鎮痛剤使用時は意識レベルの確認 - 呼吸状態、血圧、脈拍の異常に注意 |
| 苦痛緩和の配慮 | - 表情や訴えから痛みや不快感を察知し対応 - 状況に応じて検査者への情報共有 |

**（3）検査後の支援**

検査の影響による**身体的変化や合併症の早期発見、生活再開への支援**が中心となる。

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| 安静・飲食・移動の確認 | - 検査後の安静時間の指示に従った誘導 - 飲食再開のタイミング（内視鏡検査後など） - 立ちくらみや転倒への注意 |
| 合併症の観察 | - 出血（内視鏡・穿刺後）、穿孔、発熱、アレルギー反応などの有無を観察 - 異常があれば速やかに報告・対応 |
| 精神的ケアと情報整理 | - 結果を待つ間の不安への対応 - 検査内容の振り返りや質問への対応 - 結果の説明は原則医師が行うが、看護師は補足説明や心理的支援を担う |

**4．インフォームド・コンセントと看護師の役割**

**（１）インフォームド・コンセントとは**

医療行為を受けるにあたって、患者が**十分な情報を得て理解・納得したうえで、自らの意思で同意するプロセス**である。  
このプロセスは、患者の**自己決定権の尊重**に基づいており、医療の倫理的原則のひとつである。

**（２）看護師の補助的役割**

インフォームド・コンセントは医師が主体となって行うが、看護師も重要な補助的役割を果たしている。以下に、具体的な支援内容を整理する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **看護師の役割** | **内容** | **具体的な行動例** |
| ① 医師の説明内容の理解確認 | 患者が医師の説明を理解できたかどうかを確認する | ・「説明を聞いて、何か気になることはありませんか？」 ・患者の表情・反応から理解度を把握 |
| ② 不明点・不安の傾聴と伝達 | 患者の疑問や不安を聞き取り、必要に応じて医師に伝える | ・「わからない部分があれば、一緒に確認しましょう」 ・医師に再説明を依頼する場面もある |
| ③ 言語・文化的配慮 | 異文化・外国人患者、障がいを持つ患者への配慮 | ・通訳の手配、やさしい言葉での補足説明 ・宗教的信念や生活背景に配慮した説明 |
| ④ 家族との連携・意思決定支援 | 患者の意向と家族の意向が一致しない場合などに調整を図る | ・家族にも内容をわかりやすく説明し、情報共有を図る ・患者の意思を代弁するサポート |

**（３）看護師の姿勢として求められること**

* 中立的で患者の意思を尊重する態度
* 患者が質問しやすい雰囲気づくり
* 医師への「つなぎ役」としての橋渡し
* 判断を急がせない、十分な時間を確保する配慮

**■ 注意点**

* 看護師が独自に医療行為の説明を「代わりにする」ことはできない
* 説明責任は医師にあるため、誤解がないよう補助的な立場を守る

**5．まとめ**

検査は診療の過程において不可欠なものであり、看護師は検査の前後において多様な支援を行っている。検査の種類や目的を理解し、患者に安心して検査を受けてもらえるような看護実践が求められる。

**第1回　復習ワーク　検査の基本理解と看護師の役割(全10問)**

**【設問1】**

次の検査を分類に分けなさい（生理検査／画像検査／検体検査／内視鏡検査）  
A. 心電図　  
B. 胃カメラ  
C. CT検査  
D. 血液検査  
E. 超音波（エコー）検査

**【設問2】**

以下の検査目的に該当するものを、次の中から選びなさい（診断／経過観察／予後判定）  
① HbA1cを定期的に測定する →（　　　）  
② がん治療後のCT検査で再発の有無を調べる →（　　　）  
③ 突然の胸痛に対して心電図を行う →（　　　）  
④ 手術後に血液検査で炎症反応（CRP）を確認する →（　　　）

**【設問3】**

検体検査に分類されるものを3つ選びなさい。  
ア. 胸部X線  
イ. 血糖測定  
ウ. 尿蛋白検査  
エ. 眼底検査  
オ. 喀痰培養

**【設問4】**

検査前の看護師の支援として適切なものを2つ選びなさい。  
ア. 検査前の食事の準備をする  
イ. 検査の意義について専門用語を用いて詳しく説明する  
ウ. 医師の説明内容を患者が理解しているか確認する  
エ. 前処置が行われているか確認する

**【設問5】**

以下は検査中の看護師の支援である。○か×で答えなさい。  
① 意識レベルを確認する（　）  
② 医師の代わりに診断名を伝える（　）  
③ 苦痛を訴える患者に対して声かけを行う（　）

**【設問6】**

次のうち、**検査後の看護支援**として適切なものをすべて選びなさい。  
ア. 安静が必要な場合、検査後すぐに歩かせる  
イ. バイタルサインを観察する  
ウ. 検査結果を自分の判断で説明する  
エ. 出血や穿孔などの合併症を観察する  
オ. 飲食可能かどうかを確認してから水分を与える

**【設問7】**

空欄に適切な語句を入れなさい。  
「CT検査やMRI検査では、体内の（　　　）や病変を画像として確認できる。」

**【設問8】**

インフォームド・コンセントに関する記述として**正しいものをすべて選びなさい。**  
ア. 説明を受けたら必ず同意しなければならない  
イ. 同意は患者本人の意思で行われる  
ウ. 医師が行う説明の補足は看護師が担うことがある  
エ. 患者の不安や疑問は看護師が判断して除く

**【設問9】**

患者が日本語を理解できない場合、看護師として適切な対応を1つ選びなさい。  
ア. 自動翻訳アプリだけで対応する  
イ. 言語を理解していなくても同意書にサインをもらう  
ウ. 専門の通訳や多言語資料を手配する  
エ. 通訳は不要と判断し、検査を実施する

**【設問10】**

インフォームド・コンセントに関する説明文の空欄を埋めなさい。  
「インフォームド・コンセントとは、患者が十分な（　　　）を得て、それを（　　　）・納得したうえで、自らの（　　　）で同意する過程である。」

**【教員用解答】**

**設問1**

A. 生理検査  
B. 内視鏡検査  
C. 画像検査  
D. 検体検査  
E. 画像検査

**設問2**

① 経過観察  
② 予後判定  
③ 診断  
④ 経過観察

**設問3**

正解：イ・ウ・オ

**設問4**

正解：ウ・エ

**設問5**

① ○  
② ×  
③ ○

**設問6**

正解：イ・エ・オ

**設問7**

正解：構造

**設問8**

正解：イ・ウ

**設問9**

正解：ウ

**設問10**

正解：情報／理解／意思

**事例演習：検査の基本理解と看護師の役割(全８問)**

Aさん（72歳・女性）は、ここ数日「動悸」と「息切れ」を自覚し、地域の内科クリニックを受診した。医師は心疾患の疑いから、以下の検査を予定している。

* 心電図（ECG）
* 胸部X線検査
* 採血（貧血、心筋逸脱酵素、電解質異常の確認）

過去にヨード造影剤にアレルギーがあるため、CT検査は実施しないことになった。

Aさんは「検査が怖い」「検査で何をされるかわからないので不安だ」と訴えている。

**【設問1】**

Aさんに予定されている検査3つを、それぞれの分類（生理検査／画像検査／検体検査／内視鏡検査）に分類しなさい。

**【設問2】**

今回の検査の主な目的は何か。次から1つ選びなさい。  
ア．診断　イ．経過観察　ウ．予後判定

**【設問3】**

検査前に看護師が確認すべきAさんの情報として重要なものを3つ選びなさい。  
ア．ヨード造影剤のアレルギー歴  
イ．現在の内服薬リスト  
ウ．過去に経験した手術の内容  
エ．検査当日の朝食内容  
オ．患者の精神的な不安の有無

**【設問4】**

検査前に看護師が行うべき支援を3つ選びなさい。  
ア．検査の流れや所要時間の説明  
イ．患者の同意を医師に代わって取得する  
ウ．検査に関わる不安の傾聴と相談対応  
エ．必要な前処置の指導（絶食など）  
オ．検査結果の詳細説明

**【設問5】**

検査中に看護師が注意して観察すべき項目を3つ挙げなさい。

**【設問6】**

検査後の看護師の役割として適切なものを3つ選びなさい。  
ア．バイタルサインの観察  
イ．検査結果の医療的判断  
ウ．出血やアレルギー症状の有無の観察  
エ．検査後の安静や飲食可能かの確認  
オ．患者の疑問や不安への対応

**【設問7】**

Aさんが「検査の説明が難しくてわからない」と訴えた場合、看護師としてどのように対応すべきか、具体的に述べなさい。（60字以内）

**【設問8】**

インフォームド・コンセントの看護師の補助的役割として正しいものをすべて選びなさい。  
ア．医師の説明内容が患者に理解されているかを確認する  
イ．患者の疑問や不安を聴取し医師に伝える  
ウ．患者に検査や治療の同意を強制する  
エ．患者の言語的・文化的背景に配慮して支援する  
オ．医師に代わって検査のメリット・デメリットを説明する

**【教員用】解答例**

**【設問1】**

* 心電図（ECG） → 生理検査
* 胸部X線検査 → 画像検査
* 採血 → 検体検査

**【設問2】**

ア．診断

**【設問3】**

正解：ア．イ．オ

**【設問4】**

正解：ア．ウ．エ

**【設問5】**

* 患者の意識状態
* バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数）
* 苦痛や不快感の訴え

**【設問6】**

正解：ア．ウ．エ．オ

**【設問7】（例）**

「わかりやすい言葉で説明し、不明な点は繰り返し確認しながら不安に寄り添う。」

**【設問8】**

正解：ア．イ．エ